

機器接続マニュアル



機器接続マニュアルに関する注意事項

本書を正しくご使用いただくために、ご使用前に必ず「マニュアルPDFをダウンロードする前に」をお読みいただき、「はじめに(商標権などについて、対応機種一覧、マニュアルの読み方、表記のルール)」マニュアルをダウンロードしてください。ダウンロードされたマニュアルは、必ずご利用になる場所のお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

14.6 神港テクノス(株)製 調節計

14.6.1 システム構成

神港テクノス(株)電子温度調節器とGP/GLCを接続する場合のシステム構成を示します。

Cシリーズ

CPU	制御ユニット ^{*1}	結線図	使用可能なケーブル	GP/GLC
CPT-20A	CCT-235-2-	RS-422 <結線図4>	神港テクノス(株)製 CPM	GPシリーズ GLCシリーズ
		RS-422 (1:n通信) <結線図5>	神港テクノス(株)製 CPM CPP	

FCシリーズ

CPU ^{*2}	リンク I/F	結線図	GP/GLC
FCD-13A ,C FCD-15A ,C FCR-13A ,C FCR-15A ,C	シリアル通信 オプション:C	RS-232C <結線図 1>	GPシリーズ GLCシリーズ
FCD-13A ,C5 FCD-15A ,C5 FCR-13A ,C5 FCR-15A ,C5	シリアル通信 オプション:C5	RS-422 <結線図 2> RS-422 (1:n通信) <結線図 3>	

FIRシリーズ

CPU ^{*2}	リンク I/F	結線図	GP/GLC
FIR-201-M ,C FIR-201-M ,C	シリアル通信 オプション:C	RS-232C <結線図 1>	GPシリーズ GLCシリーズ
FIR-201-M ,C5 FIR-201-M ,C5	シリアル通信 オプション:C5	RS-422 <結線図 2> RS-422 (1:n通信) <結線図 3>	

GCシリーズ

CPU ^{*2}	リンク I/F	結線図	GP/GLC
GCS-300 ,C5	シリアル通信 オプション:C5	RS-422 <結線図 2> RS-422 (1:n通信) <結線図 3>	GPシリーズ GLCシリーズ

FCLシリーズ

CPU ^{*2}	リンク I/F	結線図	GP/GLC
FCL-13A ,C5	シリアル通信 オプション:C5	RS-422 <結線図 2> RS-422 (1:n通信) <結線図 3>	GPシリーズ GLCシリーズ

*1 指定するオプションによってCシリーズの制御ユニットの型式が異なります。型式の詳細についてはCシリーズのカタログをご参照ください。

*2 各調節計の型式「」は、指定するオプションにより変わります。

シリアル通信のオプションは、基本型式の後に「,C」または「,C5」と付きます。型式の詳細については、各シリーズのカタログをご参照ください。

PC-900 シリーズ

CPU *1	リンク I/F	結線図	GP/GLC
PC-935 ,C PC-955 ,C	シリアル通信 オプション : C	RS-232C < 結線図 1 >	GPシリーズ GLCシリーズ
PC-935 ,C5 PC-955 ,C5	シリアル通信 オプション : C5	RS-422 < 結線図 2 >	
		RS-422 (1:n通信) < 結線図 3 >	

*1 各調節計の型式「 」は、指定するオプションにより変わります。
シリアル通信のオプションは、基本型式の後「 」に「 ,C」または「 ,C5」と付きます。

PCD-33A シリーズ

CPU	リンク I/F	結線図	GP/GLC
PCD-33A- /M , C5	シリアル通信 オプション : C5	RS-232C < 結線図 6 >	GP/GLCシリーズ
		神港テクノス株式会社製 RS-232C<->RS-485通信変換器 IF-300-C5	
	シリアル通信 オプション : C5	RS-422 < 結線図 7 >	
		RS-422 (1:n通信) < 結線図 9 >	

JCR-33A/JCD-33A シリーズ

CPU	リンク I/F	結線図	GP/GLC
JCR-33A-R/M , C5	シリアル通信 オプション : C5	RS-232C < 結線図 6 >	GP/GLCシリーズ
		神港テクノス株式会社製 RS-232C<->RS-485通信変換器 IF-300-C5	
	シリアル通信 オプション : C5	RS-422 < 結線図 7 >	
		RS-422 (1:n通信) < 結線図 9 >	

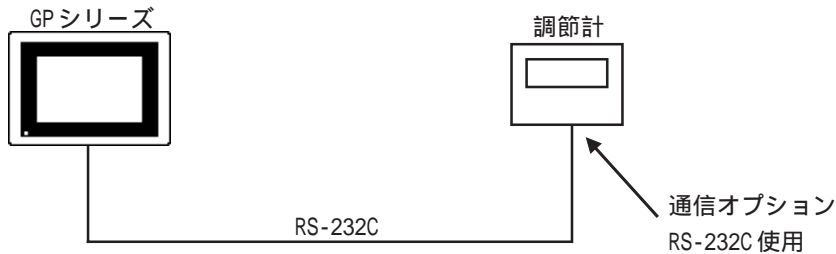
JIR-301-M シリーズ

CPU	リンク I/F	結線図	GP/GLC
JIR-301-M , C5	シリアル通信 オプション : C5	RS-232C < 結線図 6 >	GP/GLCシリーズ
		神港テクノス株式会社製 RS-232C<->RS-485通信変換器 IF-300-C5	
	シリアル通信 オプション : C5	RS-422 < 結線図 7 >	
		RS-422 (1:n通信) < 結線図 9 >	

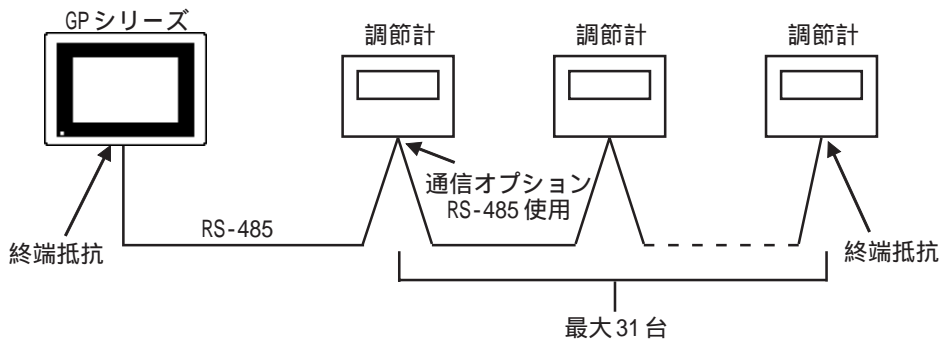
DCL-33A シリーズ

CPU	リンク I/F	結線図	GP/GLC
DCL-33A- /M , C5	シリアル通信 オプション : C5	RS-232C < 結線図 6 >	GP/GLCシリーズ
	神港テクノス株式会社製 RS-232C<->RS-485通信変換器 IF-300-C5	RS-232C (1:n通信) < 結線図 8 >	
	シリアル通信 オプション : C5	RS-422 < 結線図 7 >	
		RS-422 (1:n通信) < 結線図 9 >	

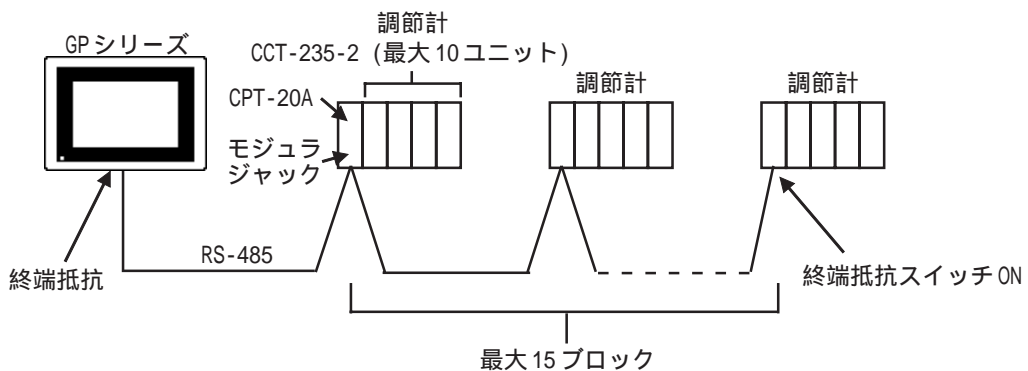
RS-232C 接続の場合 (RS-232C 接続可能なシリーズのみ)



Cシリーズ以外のRS-485接続の場合



CシリーズのRS-485接続の場合

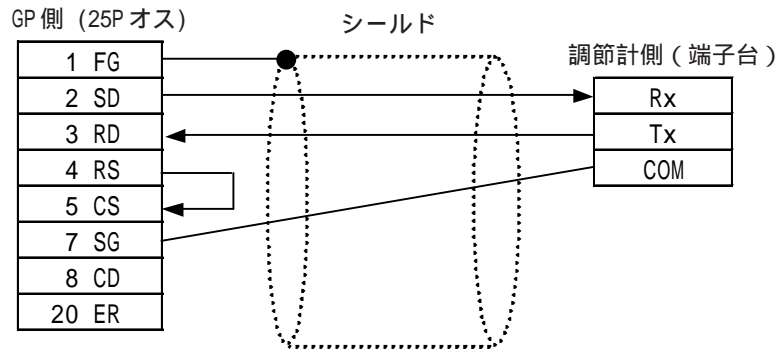


14.6.2 結線図

以下に示す結線図と神港テクノス(株)の推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書の結線図にてご使用ください。

- 重要**
- ・ FGは、D種接地を行ってください。
 - ・ シールド線へのFGの接続は、設置環境によって調節計側、GP側のどちらかを選択してください。(調節計のシリーズによっては、GND信号(FG)がないものがあります)
 - ・ コネクタフードを使ってFGを落とす場合は、導電性のあるものを使用してください。
 - ・ RS-232C接続の場合、ケーブル長は15m以内にしてください。
 - ・ RS-422接続の場合、ケーブル長は600m以内にしてください。
 - ・ ケーブルは、オーナンバ(株)製OTSC-2PVB-7/0.32TAを推奨します。

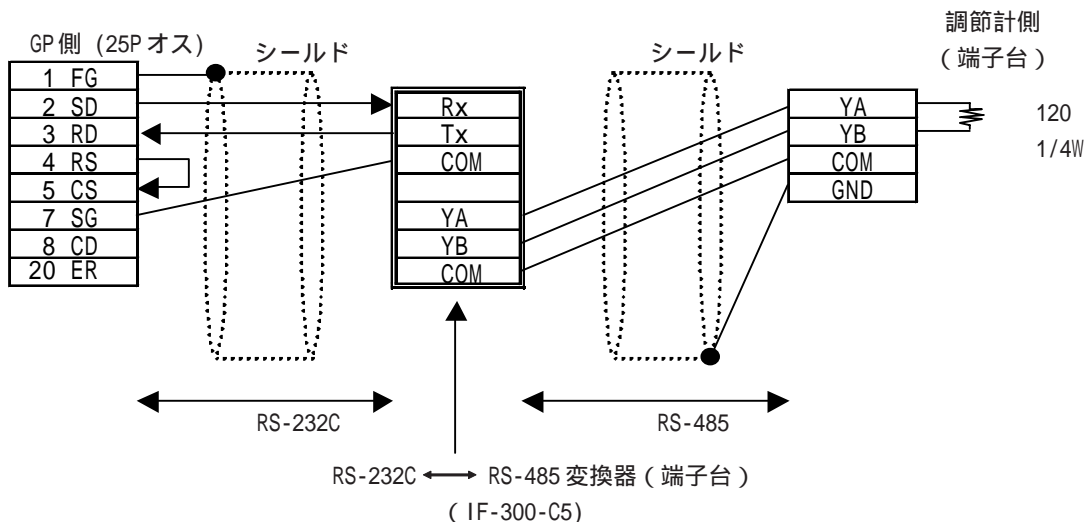
< 結線図 1 >



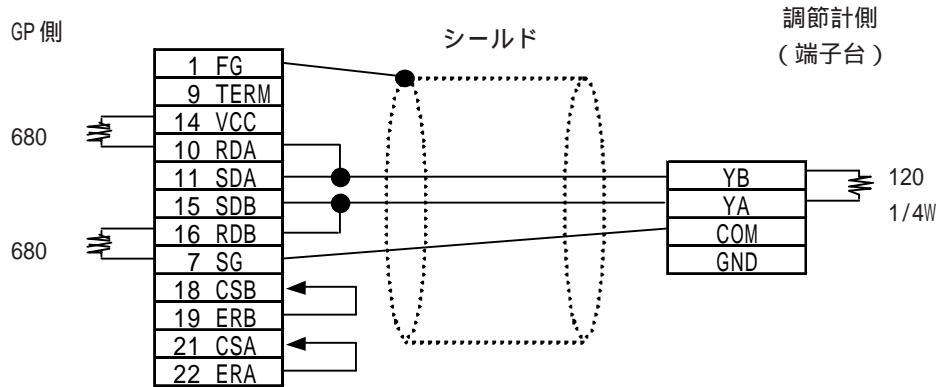
< 結線図 2 >

接続する方法は、神港テクノス製RS-232C ↔ RS-485変換器(IF-300-C5)を使用する方法と直接RS-485ケーブルで接続する方法があります。

- ・ 神港テクノス製RS-232C ↔ RS-485変換器(IF-300-C5)を使用する場合
この場合、GP側の通信設定は、RS-232Cにしてください。
市販のRS-232C ↔ RS-485変換器は使用できません。



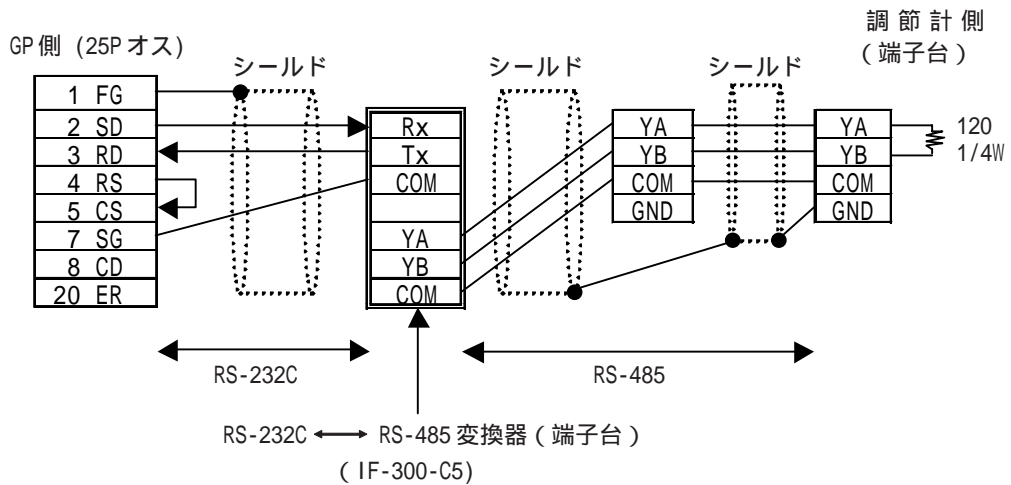
- ・ GP と調節計を直接 RS-485 ケーブルで接続する場合



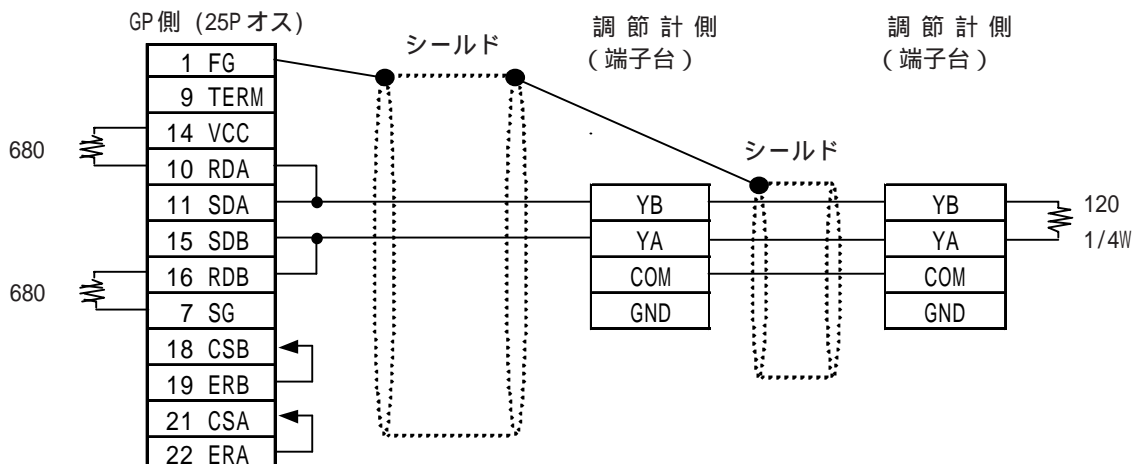
< 結線図 3 >

接続する方法は、神港テクノス製 RS-232C ↔ RS-485 変換器 (IF-300-C5) を使用する方法と直接 RS-485 ケーブルで接続する方法があります。

- ・ 神港テクノス製 RS-232C ↔ RS-485 変換器 (IF-300-C5) を使用する場合
この場合、GP 側の通信設定は、RS-232C にしてください。
市販の RS-232C ↔ RS-485 変換器は使用できません。

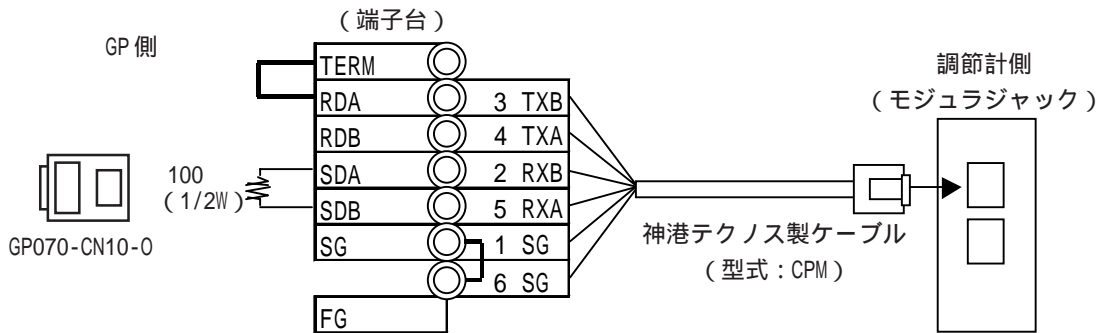


- ・ GP と調節計を直接 RS-485 ケーブルで接続する場合



< 結線図 4 > RS-422

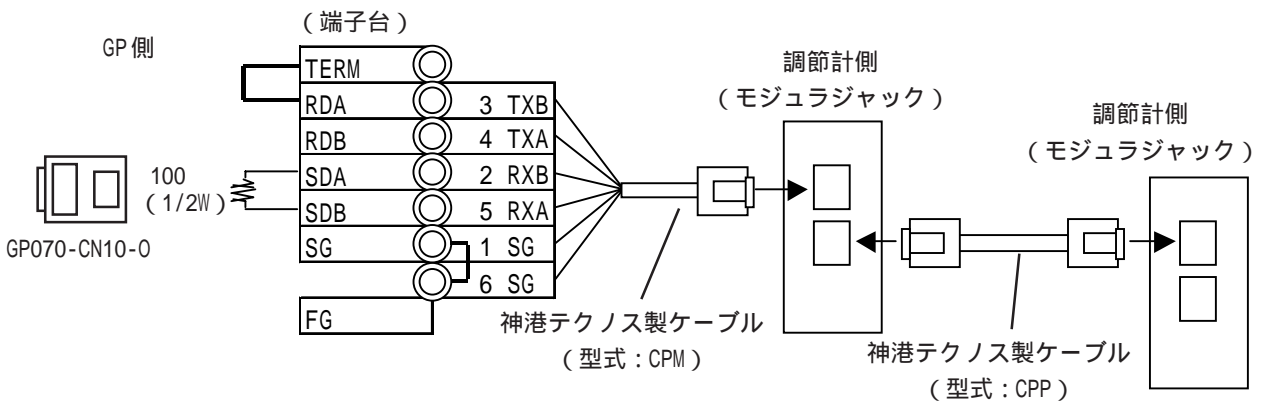
・(株)デジタル製RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0を使用する場合



・ ケーブルは、神港テクノス(株)製ケーブルCPMをご使用ください。

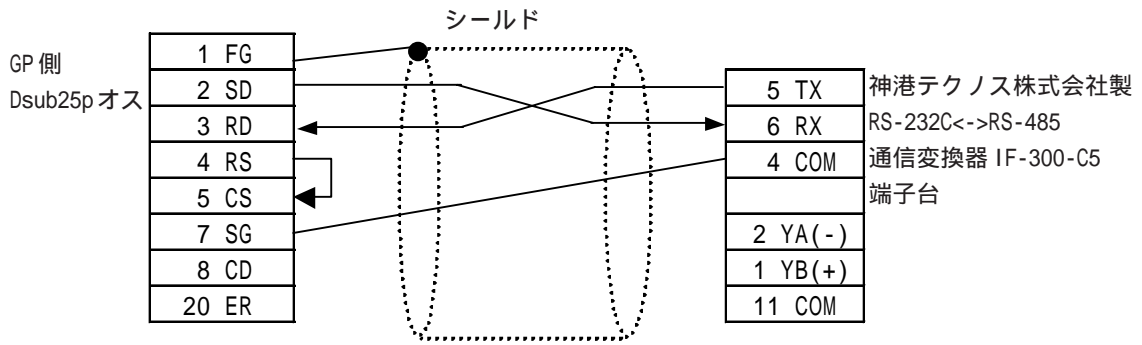
< 結線図 5 > RS-422

・(株)デジタル製RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0を使用する場合



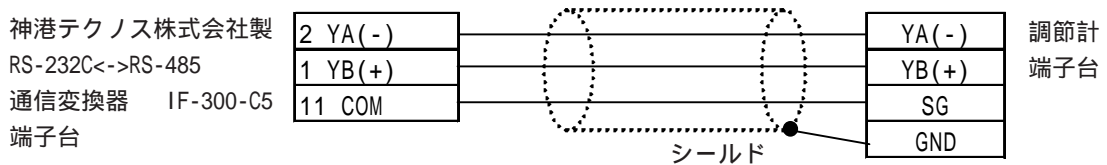
- ・ ケーブルは、神港テクノス(株)製ケーブルCPMおよびCPPをご使用ください。
- ・ GPと調節計のA極とB極の呼称が逆になっていますのでご注意ください。
- ・ 調節計側の終端抵抗は、通信設定用ディップスイッチNo.2をONにすることで挿入されます。

< 結線図 6 > RS-232C (最大ケーブル長 : 15m)



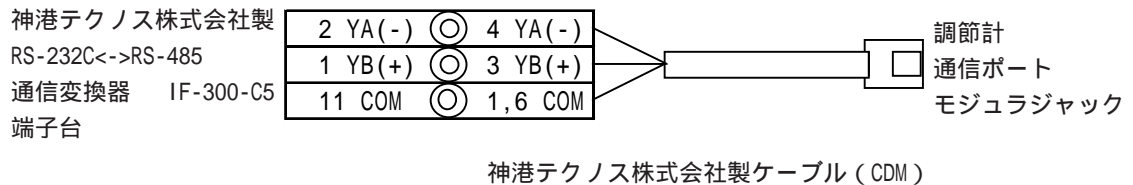
神港テクノス株式会社製通信変換器 IF-300-C5 と調節計の結線

- ・ DCL-33A シリーズを除く (最大ケーブル長 : 600m)



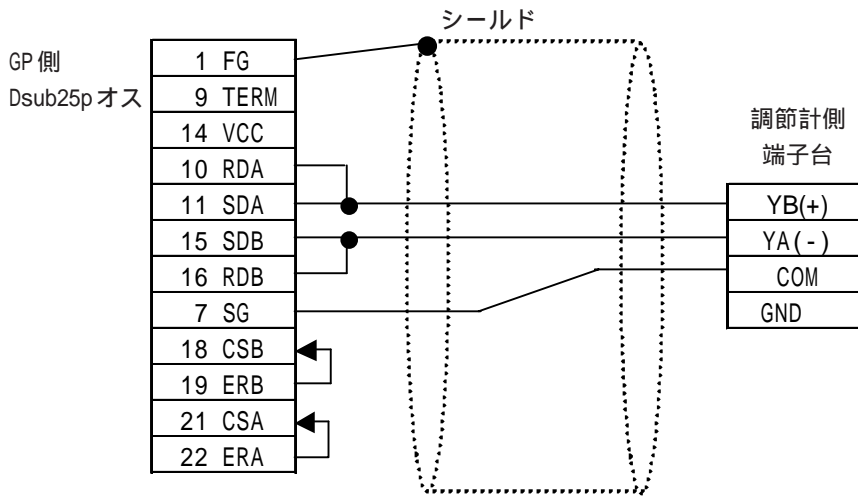
終端抵抗は通信変換器 IF-300-C5、調節計に内蔵されているため必要ありません。

- ・ DCL-33A シリーズのみ

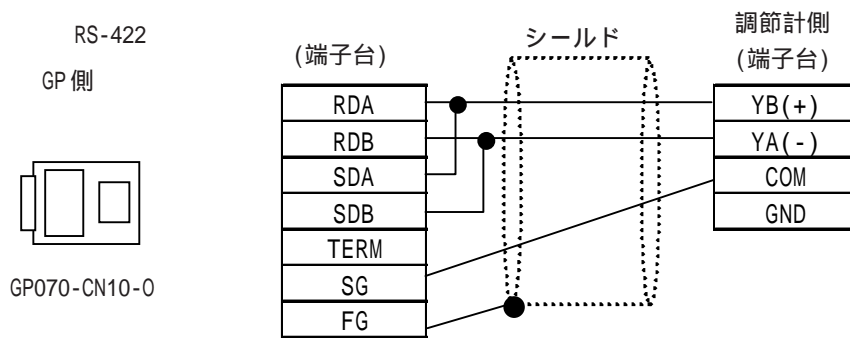


< 結線図 7 > 2 線式 (GP と調節計を直接接続するとき)

DCL-33A シリーズを除く (最大ケーブル長 : 600m)



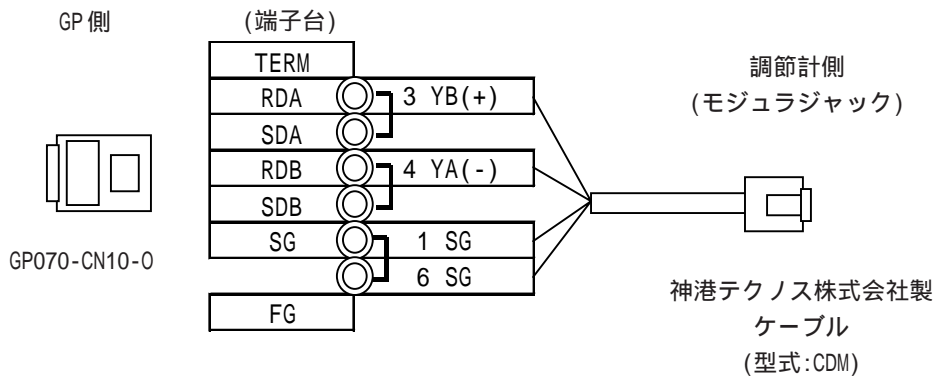
・(株) デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ (GP070-CN10-0) を使用する場合



終端抵抗は調節計に内蔵されているため必要ありません。

DCL-33A シリーズのみ

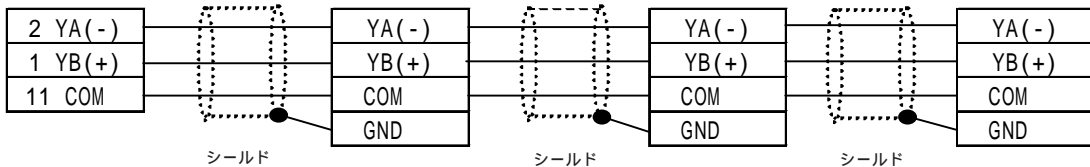
・(株) デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ (GP070-CN10-0) を使用する場合



< 結線図 8 > 2線式 (1:n, 神港テクノス株式会社製通信変換器 IF-300-C5 使用時)

・DCL-33A シリーズを除く (総ケーブル長 : 600m)

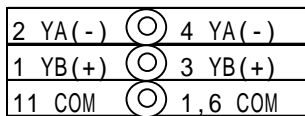
神港テクノス株式会社製
RS-232C<->RS-485
通信変換器 IF-300-C5
端子台



終端抵抗は調節計に内蔵されているため必要ありません。

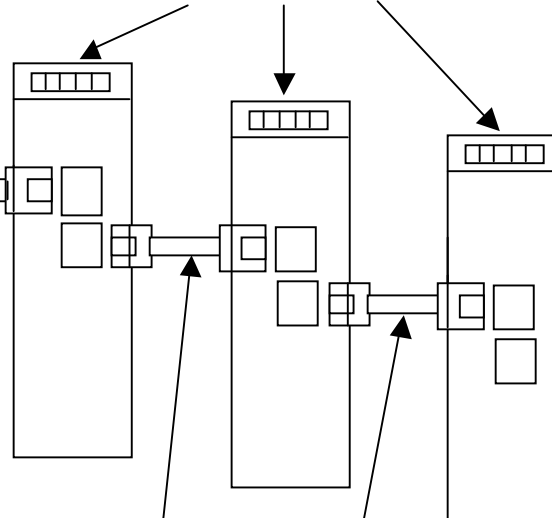
・DCL-33A シリーズのみ

神港テクノス株式会社製
RS-232C<->RS-485
通信変換器 IF-300-C5
端子台



神港テクノス株式会社製
ケーブル (CDM)

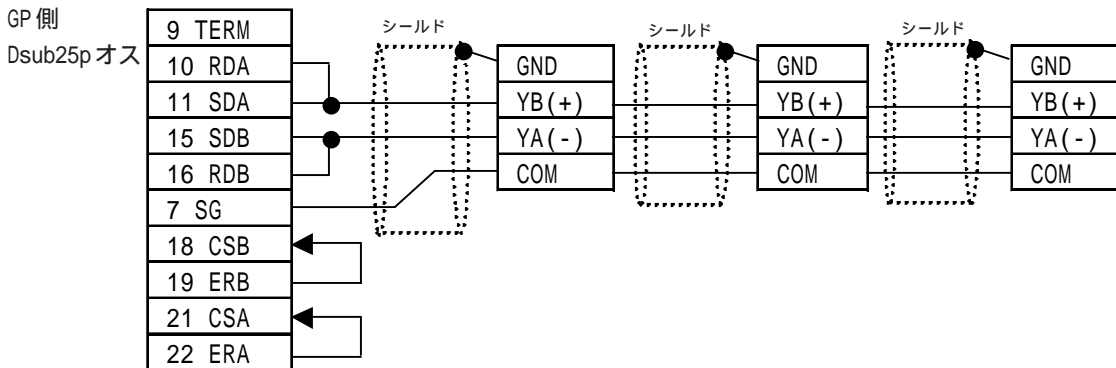
DCL-33A シリーズ (モジュラジャック)



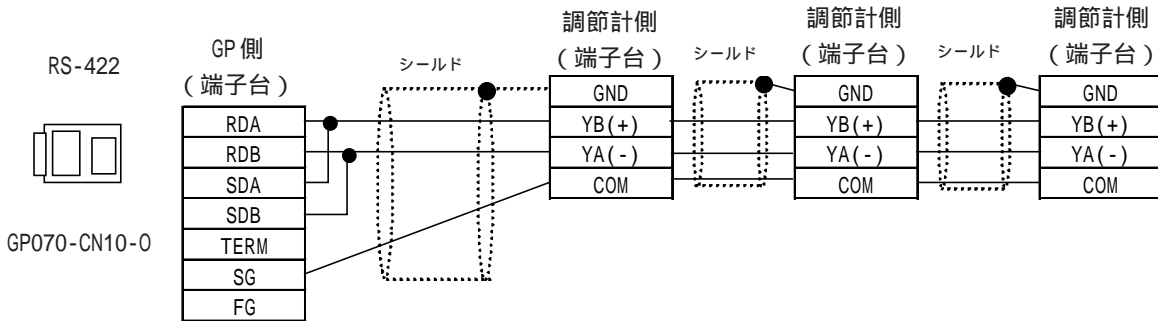
神港テクノス株式会社製
ケーブル (CPP)

< 結線図 9 > 2線式 (1:n, GPと調節計を直接接続するとき)

DCL-33A シリーズを除く (総ケーブル長 : 600m)



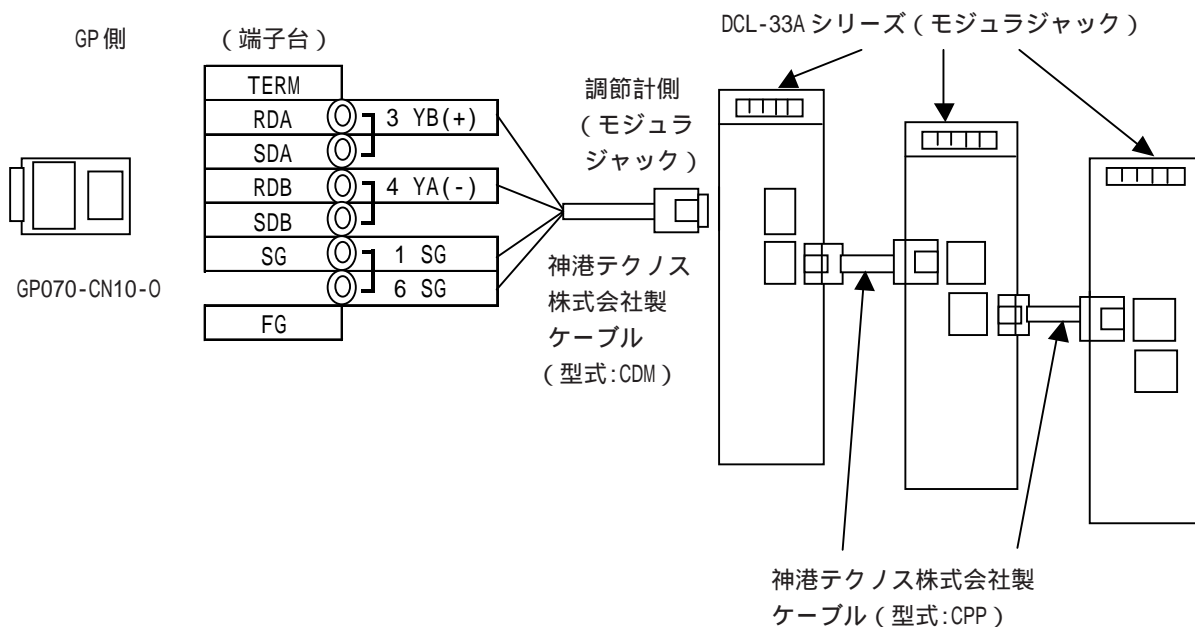
・(株) デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ (GP070-CN10-0) を使用する場合



終端抵抗は調節計に内蔵されているため必要ありません。

DCL-33A シリーズのみ

・(株) デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ (GP070-CN10-0) を使用する場合



14.6.3 使用可能デバイス

GP/GLCでサポートしているデバイスの範囲を示します。

Cシリーズ

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	
チャンネル1	1CH010 ~ 1CH84F	1CH01 ~ 1CH84	H/L
チャンネル2	2CH010 ~ 2CH84F	2CH01 ~ 2CH84	
チャンネル3	3CH010 ~ 3CH84F	3CH01 ~ 3CH84	
チャンネル4	4CH010 ~ 4CH84F	4CH01 ~ 4CH84	
チャンネル5	5CH010 ~ 5CH84F	5CH01 ~ 5CH84	
チャンネル6	6CH010 ~ 6CH84F	6CH01 ~ 6CH84	
チャンネル7	7CH010 ~ 7CH84F	7CH01 ~ 7CH84	
チャンネル8	8CH010 ~ 8CH84F	8CH01 ~ 8CH84	
チャンネル9	9CH010 ~ 9CH84F	9CH01 ~ 9CH84	
チャンネル10	10CH010 ~ 10CH84F	10CH01 ~ 10CH84	
チャンネル11	11CH010 ~ 11CH84F	11CH01 ~ 11CH84	
チャンネル12	12CH010 ~ 12CH84F	12CH01 ~ 12CH84	
チャンネル13	13CH010 ~ 13CH84F	13CH01 ~ 13CH84	
チャンネル14	14CH010 ~ 14CH84F	14CH01 ~ 14CH84	
チャンネル15	15CH010 ~ 15CH84F	15CH01 ~ 15CH84	
チャンネル16	16CH010 ~ 16CH84F	16CH01 ~ 16CH84	
チャンネル17	17CH010 ~ 17CH84F	17CH01 ~ 17CH84	
チャンネル18	18CH010 ~ 18CH84F	18CH01 ~ 18CH84	
チャンネル19	19CH010 ~ 19CH84F	19CH01 ~ 19CH84	
チャンネル20	20CH010 ~ 20CH84F	20CH01 ~ 20CH84	

アドレスは、すべて16進数で入力してください。



- ・ GPでは、調節計側のデータ項目に関わらず、すべて同じデバイスとして扱います。
- ・ アドレスの指定は、各データ項目の番号が指定するアドレスとします。

Cシリーズの場合、取扱説明書の「通信コマンド一覧」には、各チャンネルで以下のようなデータ項目一覧が記載されています。

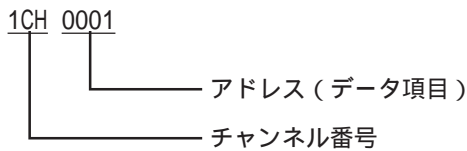
チャンネル数は最大20チャンネルをサポートしています。

コマンド種別	データ項目	データ
20H/50H	0001H: 定置制御の主設定値(SV)設定	設定値
20H/50H	0002H: 定置制御の制御出力(OUT1)比例帯設定	設定値
20H/50H	0003H: 定置制御の積分時間設定	設定値
20H/50H	0004H: 定置制御の微分時間設定	設定値
:	:	:

この項目番号が、GPのアドレスとなります。

20H: 読み出し可能
50H: 書き込み可能

チャンネル1のデータ項目「主設定値(SV)設定」の場合、項目番号が0001Hなので、GPでのアドレスは、以下の通りとなります。



チャンネル1のデータ項目「積分時間設定」の場合、項目番号が0003Hなので、GPでのアドレスは、「1CH0003」となります。

チャンネル2のデータ項目「積分時間設定」の場合、項目番号が0003Hなので、GPでのアドレスは、「2CH0003」となります。

コマンド種別が20Hのときは読み出し可能で、50Hのときは、書き込み可能です。

(20H/50Hは、読み書き可能であるデータ項目)

FCシリーズ

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	
データ項目	00010 ~ 0086F	0001 ~ 0086	H/L
設定値メモリ 1	1S010 ~ 1S86F	1S01 ~ 1S86	
設定値メモリ 2	2S010 ~ 2S86F	2S01 ~ 2S86	
設定値メモリ 3	3S010 ~ 3S86F	3S01 ~ 3S86	
設定値メモリ 4	4S010 ~ 4S86F	4S01 ~ 4S86	
設定値メモリ 5	5S010 ~ 5S86F	5S01 ~ 5S86	
設定値メモリ 6	6S010 ~ 6S86F	6S01 ~ 6S86	
設定値メモリ 7	7S010 ~ 7S86F	7S01 ~ 7S86	

アドレスは、すべて16進数で入力してください。



- ・ GPでは、調節計側のデータ項目に関わらず、すべて同じデバイスとして扱います。
- ・ アドレスの指定は、各データ項目の番号が指定するアドレスとします。

FCシリーズの場合、通信取扱説明書の「通信コマンド一覧」には、各チャンネルで以下のようなデータ項目一覧が記載されています。

また、コマンド種別が20Hのときは読み出し可能で、50Hのときは、書き込み可能です。

(20H/50Hは、読み書き可能であるデータ項目)

内容	サブアドレス	コマンド種別	データ項目
主設定値(ステップ温度設定値)	1~7	20H/50H	0001H
設定値メモリ番号(ステップ番号)選択	0	20H/50H	0002H
オートチューニング実行/解除	0	20H/50H	0003H
主比例帯設定	1~7	20H/50H	0004H
:	:	:	:

サブアドレス(設定値メモリNo.)

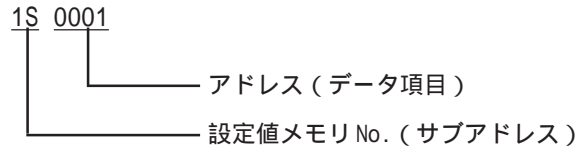
この項目番号が、GPのアドレスとなります。

FCシリーズの場合、サブアドレスの設定が必要です。サブアドレスは、「設定値メモリNo.」のことを指します。例えば、「サブアドレス1」は、「設定値メモリNo.1」のことを指します。従って、サブアドレスの設定が必要なデータ項目は、作画上では「設定値メモリNo.」のデバイスを指定する必要があります。

サブアドレスの設定の必要がない(サブアドレスが0の項目)データ項目は、データ項目の番号のみを設定します。

例)サブアドレスの必要なデータ項目の場合

設定値メモリ No.1のデータ項目「主設定値(ステップ温度設定値)」は、GPでのアドレスでは以下の通りになります。



例)サブアドレスの必要のないデータ項目の場合

データ項目「設定値メモリ番号(ステップ番号)選択」は、GPでのアドレスでは以下の通りになります。



FIR/GC/FCL シリーズ

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	
データ項目	00010 ~ 00A3F	0001 ~ 00A3	H/L

アドレスは、すべて16進数で入力してください。



- GPでは、調節計側のデータ項目に関わらず、すべて同じデバイスとして扱います。
- アドレスの指定は、各データ項目の番号が指定するアドレスとします。

FIRシリーズの場合、通信取扱説明書の「通信コマンド一覧」には、以下のようなデータ項目一覧が記載されています。コマンド種別が20Hのときは読み出し可能で、50Hのときは、書き込み可能です。

(20H/50Hは、読み書き可能であるデータ項目)

コマンド種別	データ項目	データ
20H/50H	0001H: 警報1 (A1) 設定	設定値
20H/50H	0002H: 警報2 (A2) 設定	設定値
20H/50H	0003H: 警報3 (A3) 設定	設定値
20H/50H	0004H: 設定値ロック指定	設定値
:	:	:

この項目番号が、GPのアドレスとなります。

20H: 読み出し可能
50H: 書き込み可能

データ項目「警報1(A1)設定」は、項目番号が0001Hとなり、GPでのアドレスは以下の通りになります。



データ項目「警報2(A2)設定」は、項目番号が0002Hとなり、GPでのアドレスは、「0002」となります。

PC-900 シリーズ

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考	
データ項目	00010 ~ 0400F	0001 ~ 0400	*1	H/L
	04010 ~ 0800F	0401 ~ 0800		
	08010 ~ 0C00F	0801 ~ 0C00		
	0C010 ~ 1000F	0C01 ~ 1000		
	10010 ~ 1400F	1001 ~ 1400		
	14010 ~ 1800F	1401 ~ 1800		
	18010 ~ 1C00F	1801 ~ 1C00		
	1C010 ~ 2000C	1C01 ~ 2000		
	20010 ~ 2400F	2001 ~ 2400		
	24010 ~ 2800F	2401 ~ 2800		
	28010 ~ 2C00F	2801 ~ 2C00		
	2C010 ~ 3000F	2C01 ~ 3000		
	30010 ~ 3400F	3001 ~ 3400		
	34010 ~ 3800F	3401 ~ 3800		
	38010 ~ 3C00F	3801 ~ 3C00		
	3C010 ~ 4000F	3C01 ~ 4000		
	40010 ~ 4400F	4001 ~ 4400		
	44010 ~ 4800F	4401 ~ 4800		
	48010 ~ 4C00F	4801 ~ 4C00		
	4C010 ~ 5000F	4C01 ~ 5000		
	50010 ~ 5400F	5001 ~ 5400		
	54010 ~ 5800F	5401 ~ 5800		
	58010 ~ 5C00F	5801 ~ 5C00		
	5C010 ~ 6000C	5C01 ~ 6000		
	60010 ~ 6400F	6001 ~ 6400		
	64010 ~ 6800F	6401 ~ 6800		
	68010 ~ 6C00F	6801 ~ 6C00		
	6C010 ~ 7000C	6C01 ~ 7000		
70010 ~ 7400F	7001 ~ 7400			
74010 ~ 7800F	7401 ~ 7800			
78010 ~ 7C00F	7801 ~ 7C00			
7C010 ~ 7991F	7C01 ~ 7991			

アドレスは、すべて16進数で入力してください。

*1 データ項目は、GPの内部的に1024(0x400)ワードごとに分割して処理しています。そのため、各ブロック(1024ワード)をまたぐ設定では、以下の機能などが使用できませんのでご注意ください。ご使用の際は、各ブロック内におさまるように設定してください。

1) aタグの設定

(使用した場合は、アラームが表示されません。)

2) 2Way機能による一括読み書き

(使用した場合は、指定したブロックの最大アドレスまでしか表示されません。)



- GPでは、調節計側のデータ項目に関わらず、すべて同じデバイスとして扱います。
- アドレスの指定は、各データ項目の番号が指定するアドレスとします。

PC-900シリーズの場合、通信取扱説明書の「通信コマンド一覧」には、以下のようなデータ項目一覧が記載されています。

コマンド種別が20Hの場合は読み出し可能で、50Hの場合は、書き込み可能です。
(20H/50Hは、読み書き可能であるデータ項目です。)

コマンド種別	データ項目	データ
20H/50H	0001H: 定置制御の主設定値(SV)設定	設定値
20H/50H	0002H: 定置制御の制御出力(OUT1)比例帯設定	設定値
20H/50H	0003H: 定置制御の積分時間設定	設定値
20H/50H	0004H: 定置制御の微分時間設定	設定値
	:	:

この項目番号が、GPのアドレスとなります。

20H: 読み出し可能
50H: 書き込み可能

データ項目「定置制御の主設定値(SV)設定」は、項目番号が0001Hとなり、GPでのアドレスは以下の通りとなります。



データ項目「定置制御の積分時間設定」は、項目番号が0003Hとなり、GPでのアドレスは、「0003」となります。

JCR-33A/JCD-33A/JIR-301-M/DCL-33A シリーズ

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考	
データ項目	00010 ~ 00A1F	0001 ~ 00A1		H/L

アドレスは、すべて16進数で入力してください。



- GPでは、調節計側のデータ項目に関わらず、すべて同じデバイスとして扱います。
- アドレスの指定は、各データ項目の番号が指定するアドレスとします。

JCR-33A/JCD-33A/JIR-301-M/DCL-33Aシリーズの場合、通信取扱説明書の「通信コマンド一覧」に以下のようなデータ項目一覧が記載されています。

コマンド種別が20Hの場合は読み出し可能で50Hの場合は書き込み可能です。(20H/50Hは読み書き可能であるデータ項目です。)

以下はJIR-301-M, C5通信取扱説明書の「通信コマンド一覧」を例に説明します。

コマンド種別	データ項目	データ
20H/50H	0001H:SV1	設定値
20H/50H	0002H:未使用	
20H/50H	0003H:AT設定	0:解除 1:実行

この項目番号が、GPのアドレスとなります。

20H:読み出し可能
50H:書き込み可能

PCD-33A シリーズ

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
データ項目	00020 ~ 00A3F	0002 ~ 00A3	H/L
	11100 ~ 1392F	1100 ~ 1392	
	14100 ~ 1792F	1410 ~ 1792	
	18100 ~ 1992F	1810 ~ 1992	

アドレスは、すべて16進数で入力してください。



- GPでは調節計側のデータ項目に関わらず、すべて同じデバイスとして扱います。
- アドレスの指定は各データ項目が指定するアドレスとします。
- データ項目は、GPの内部的に1024(0x400)ワードごとに分割して処理しています。

そのため各ブロック(1024ワード)をまたぐ設定では、以下の機能などが使用できませんのでご注意ください。ご使用の際は、各ブロック内におさまるように設定してください。

- aタグの設定
(使用した場合は、アラームが表示されません。)
- 2Way機能による一括読み書き
(使用した場合は、指定したブロックの最大アドレスまでしか表示されません。)

PCD-33Aシリーズの場合、通信取扱説明書の「通信コマンド一覧」には、以下のようなデータ項目一覧が記載されています。

コマンド種別が20Hの場合は読み出し可能で、50Hの場合は書き込み可能です。
(20H/50Hは、読み書き可能であるデータ項目です。)

コマンド種別	データ項目	データ
20H/50H	0001H: 未使用	
20H/50H	0002H: 比例帯度定	設定値
20H/50H	0003H: 積分時間設定	設定値
20H/50H	0004H: 微分時間設定	設定値

この項目番号が、GPのアドレスとなります。

20H: 読み出し可能
50H: 書き込み可能

各シリーズのデータ項目の詳細に関しては、神港テクノス(株)製の以下の取扱説明書の「通信コマンド一覧」を参照してください。

シリーズ	取扱説明書
C	多点温度制御ユニットCシリーズ取扱説明書
FC	FCシリーズ通信(オプション: C、C5)取扱説明書
FIR	FIR通信取扱説明書 20H: 読み出し可能
GC	GCS通信取扱説明書 50H: 書き込み可能
FCL	FCL通信取扱説明書
PC-900	PC-935、PC-955通信(オプション: C、C5、SVTC)取扱説明書
JCR-33A	JCS、R、D-33A(C5)通信取扱説明書
JCD-33A	
JIR-301-M	JIR-301-M、C5通信取扱説明書
DCL-33A	DCL-33A(C5)通信取扱説明書
PCD-33A	PCD-33A(C5、SVTC)通信取扱説明書



各シリーズ共、調節計のデータ項目の設定値で小数点付きの場合、GPではその設定値の10倍の値を表示します。従って、数値表示(Nタグ)する場合は、「表示データ形式」の「小数点桁数」の設定を1にすることで、小数点付きにすることができます。また、調節計への書き込みの場合もその設定値(小数点付き)の10倍の値を書き込みしてください。

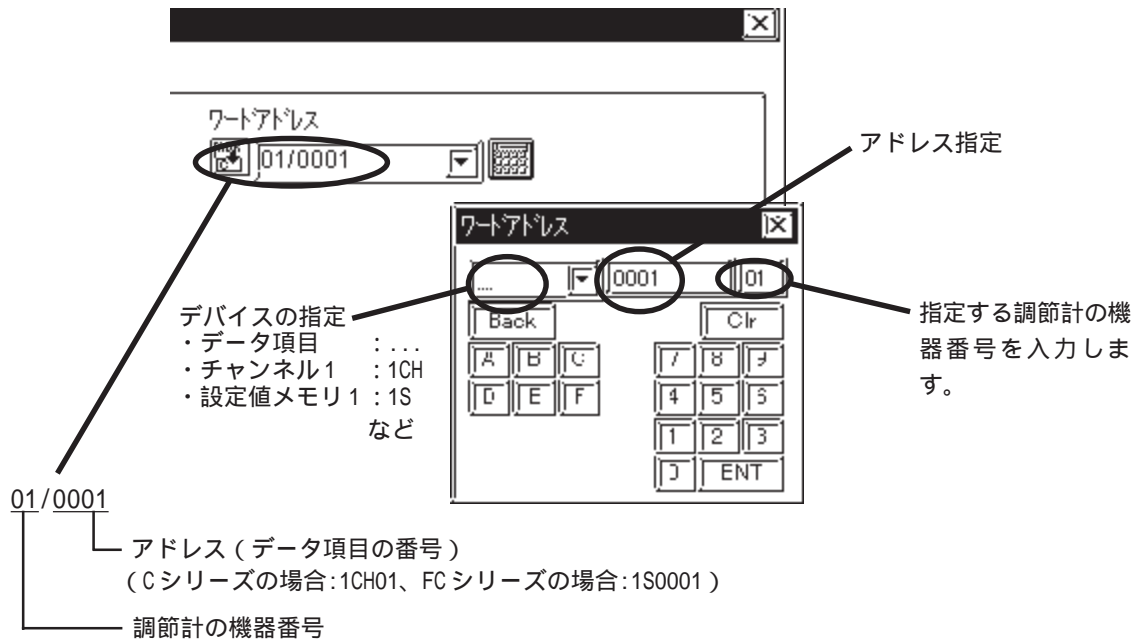
例) PC-900シリーズの制御出力(OUT1)比例帯の場合

調節計での表示 / 設定値: 2.5%

GPでの表示 / 設定値 : 25

各データ項目の設定値範囲(小数点付きか否か)の詳細については、各シリーズの通信取扱説明書をご参照ください。

- GP-PRO/PB で部品やタグの設定を行う場合、アドレス入力時に調節計の機器番号の指定をします。指定がない場合は、ひとつ前に入力された機器番号を継続します。(起動時のデフォルト値は「01」です)



- 重要** ・ GP/GLC のシステムエリア (LS0 ~ 19) について
 GP/GLC のシステムエリア (20ワード) は調節計側の使用できるデータ領域に割り付けることはできません。GP画面作成ソフトや GP/GLC のオフラインでシステムエリアの設定を行っても、調節計側の使用できるデータ領域に割り付けることはできませんのでご注意ください。

14.6.4 環境設定例

(株)デジタルが推奨する調節計側の通信設定と、それに対応するGP/GLC側の通信設定を示します。

Cシリーズ

GPまたはGLCの設定		調節計側の設定	
伝送速度	9600 bps	通信速度選択	9600 bps
データ長	7 bit	_____	_____
ストップビット	1 bit	_____	_____
パリティビット	偶数	_____	_____
制御方式	ER制御	_____	_____
通信方式	4線式	_____	_____
号機番号	1	機器番号選択 *1	1

*1 調節計の機器番号は、0～15で設定できますが、GP/GLCと接続する場合は、機器番号は1～15で設定してください。

FC/FIR/GC/FCL/PC-900シリーズ

GPまたはGLCの設定		調節計側の設定	
伝送速度	9600 bps	通信速度選択	9600 bps
データ長	7 bit	_____	_____
ストップビット	1 bit	_____	_____
パリティビット	偶数	_____	_____
制御方式	ER制御	_____	_____
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	通信方式 *1	シリアル通信
通信方式 (RS-422使用時)	RS-422 (2線式)	通信方式 *1	シリアル通信
号機番号	1	機器番号選択 *2	1

*1 PC-900シリーズのみ

*2 調節計の機器番号は、0～95で設定できますが、GP/GLCと接続する場合は、機器番号は1～32で設定してください。

PCD-33A/JCR-33A/JCD-33A/JIR-301-M/DCL-33A シリーズ

GPまたはGLCの設定		調節計側の設定	
伝送速度	9600 bps	通信速度選択	9600 bps
データ長	7 bit	_____	_____
ストップビット	1 bit	_____	_____
パリティビット	偶数	_____	_____
制御方式	ER制御	_____	_____
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	_____	_____
通信方式 (RS-422使用時)	RS-422 (2線式)	_____	_____
号機 No.	1 ~ 32	機器番号設定 *1	1 ~ 32
_____	_____	通信方式選択	nomL (標準プロトコル)

*1 調節計の機器番号は0 ~ 95で設定できますが、GPと接続する場合は1 ~ 32で設定してください。

14.6.5 エラーコード

< 調節計特有のエラーコード >

調節計特有のエラーコードは、「上位通信エラー(02: * *: # #)」とGPの画面左下に表示されます。

* * は調節計特有のエラーコードで、# # はエラーが発生した調節計の機器番号が表示されます。

エラーコード	意味
01	存在しないコマンドの場合
03	設定値の範囲を超えた場合
04	設定できない状態(AT実行中)の場合
05	キー操作による設定モード中の場合

エラーコードの詳細については、

参照 「調節計マニュアル:神港テクノス製 各シリーズ通信取扱説明書」をご参照ください。